

## 添付資料② 事業内容説明写真

事業名：イラン人貧困層及びアフガニスタン難民のための「就職・帰還支援センター」設立・運営事業（フェーズ3）  
事業期間：2011年9月8日～2012年9月7日

### (イ) 就職マッチングによる帰還準備支援



アフガニスタン出張の様子① 職業訓練や就職支援もを行っているビジネスマーケティング系の企業を訪問するイラン人スタッフ（左2名）。現地の就職・教育に関する情報収集を行った。（2012年8月）



アフガニスタン出張の様子② アフガニスタン難民の帰還を支援している国際NGOのヘラート事務所を訪問するイラン人スタッフ（左2名）。（2012年8月）



アフガニスタン出張の様子③ カブールの通信サービス企業を訪問するイラン人スタッフ（左）と現地コーディネーター（中央）。イランからの帰還難民に対する就職支援等について協議した。（2012年8月）



就職・帰還支援イベントにて、アフガニスタン出張についてレポートするNICCOスタッフ。現地の就職事情に関する有用な情報が多数の関係者、裨益者との間で共有された。（2012年9月）



就職希望者の相談に応じるイラン人スタッフ（左）。求人情報の紹介や、応募書類の作成、面接準備等、就職準備全般について幅広くサポートする。（2011年10月）



帰還した元難民から、帰還準備やアフガニスタンでの就職活動に関するアドバイスを受けるセンターの利用者たち。（2012年6月）

(ロ) 難民・貧困層支援プラットフォームの強化



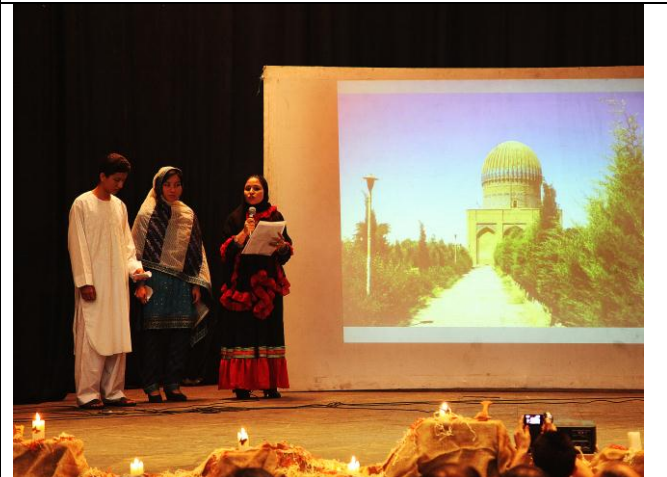
アフガニスタン人障がい者支援団体が主催した「国際障がい者デー」記念イベントの様子。ブースを出展し、来場者にセンターの活動を紹介するインターン3名。(2011年11月)



UNHCRのスタッフをセンターに招いて開催したカウンセリングの様子。他団体と積極的に連携し、地域における難民支援の活性化に取り組んだ。(2012年5月)



UNHCRと協同で開催した視覚障がい者向けのPCコースの様子。前年にも開催した初級コースに加え、今年は上級コースも開催することで、障がいを持つ難民のニーズに応えた。(2012年5月)



UNHCR マシャッド事務所が主催した「世界難民の日」イベントでプレゼンテーションを行うNICCOのインターン生。伝統衣装を身につけ、アフガニスタンの伝統文化や名所を紹介した。(2012年6月)



IT/ネットワークイベントの様子。IT講師によるセミナーや、IT関連の資格取得情報、関連団体の活動紹介等、IT関連のキャリア形成に関心を持つ参加者が、情報交換や交流を図る機会となった。(2012年9月)



就職・帰還支援イベントの様子。イラン・アフガニスタン両国から講師を迎え、帰還や就職に関する有用な様々な情報を共有した。(2012年9月)



## (ハ) 就職・帰還が可能な優秀な人材の育成

### ① ビジネススキル研修コース



英語コース(中級)の様子。求人市場での需要は高く、英語を学ぶことで帰還後の社会で活躍する機会が大きく広がる。(2011年11月)



ペルシャ語のビジネスライティングコースの様子。業務上のメールや報告書、レポート、議事録など、用途や状況に応じたビジネス文書作成のノウハウを学ぶ。(2012年1月)



IT・ネットワークコースの様子。企業でIT・ネットワーク関連職に就くための実用的な知識を短期間で身に付ける。(2012年2月)



グラフィックデザインコースのフィールドトリップの様子。印刷会社を訪問し、商業印刷のプロセスについて、現場のプロから直接説明を受けた。(2012年3月)



会計コースの様子。会計情報の知識と活用方法を、体系的に幅広く学習する他、アフガニスタンで一般的に使用されている会計ソフトの使用法も学ぶ。(2012年4月)



マーケティングコースの様子。ビジネスシミュレーションによる体験型の研修技法を通じてビジネス感覚を養い、チームワークやコミュニケーションの重要性等を学んだ。(2012年8月)

② 就職や帰還に関するセミナー



NICCO 職業訓練校の卒業生によるセミナーの様子。北部の主要都市マザリシャリフの生活環境や雇用状況について、自身の帰還体験も交えて講義が行われた。(2011年12月)



カブールの政府機関に勤務する元難民を講師に迎え開催したセミナーの様子。カブールの雇用状況や、イランとアフガニスタンの教育制度の違いについて詳しい説明があった。(2011年12月)



就職準備セミナーの様子。英語での履歴書・カバーレターの書き方や、面接時のマナー等、就職活動に際して必要な様々なノウハウが紹介された。(2011年11月)



ITセミナーの様子。IT関連職における仕事内容や求められる人材像、資格取得のポイントなどについて講義が行われた。(2011年12月)



日本人専門家によるセミナーの様子。アフガニスタンでの活動や国際協力分野における人材育成の経験を踏まえ、将来の帰還に向けた準備や心構えなどについて講義を行った。(2012年3月)



センターの卒業生によるセミナーの様子。アフガニスタンでの生活環境や、女性帰還者に起こりうる問題点について講義が行われた。(2012年8月)



### ③ センター及び企業等でのインターン研修



センターの受付で利用者の対応を行うインターン(手前 2 名)。PC を利用しての庶務や顧客情報の取り扱い等、カウンターでの実務を通じて受付業務を学ぶ。(2011 年 10 月)



センターのホームページ更新について打合せ中のインターン(右)と日本人スタッフ(左)。有用な情報を幅広く配信するためのアイデアを出し合う。(2012 年 1 月)



ニュースレターの編集ミーティングの様子。イラン人ボランティア(中央)の指導の下、インターン生が主体となって、コンテンツの企画や割り振り、デザインの方向性について話し合う。(2012 年 5 月)



コースの運営・管理方法とそれに伴う実務についてイラン人スタッフ(左 2 人目)から指導を受けるインターンたち。様々な実務を通じて幅広く業務を学んだ。(2012 年 7 月)

### ④ PC スペースを利用した、PC 基礎の自習プログラム



PC 基礎の学習に取り組む難民の利用者たち。タイピングや Microsoft Office を中心とした基礎的なコンピューター技能を習得する。(2012 年 4 月)



利用者の質問に答えるイラン人スタッフ(左)。各チャプターの終了時には、個別に習得状況の確認が行われる。(2012 年 8 月)

⑤ 就職・帰還に関するカウンセリングサービス



グループカウンセリングの様子。グループ間での意見交換や個人が抱える課題の共有を通じて自分への理解を深める。(2011年9月)



一人一人の状況やニーズに合わせて、求人・教育に関する情報の提供や、研修プログラムの提案等、幅広いアドバイスを送る。(2011年10月)

(二) 情報発信拠点としての機能拡充



センターのホームページでアフガニスタンの就職関連情報を閲覧する難民の女性。(2011年10月)



センターで発行しているニュースレターを読む難民の男性。写真の号は帰還に焦点を当て、帰還に関連する様々な情報を分かりやすく掲載している。(2011年12月)



難民のニーズにより合致したニュースレターを作成するため、センターで利用者から感想や要望をヒアリングするインターン(左)。(2012年2月)



ニュースレターを配布する様子。関係団体を訪問し、読者としての意見や要望を聞いたり、情報交換をしたりする貴重な場でもある。アフガニスタン学生組合のメンバー(左)、日本人スタッフ(中央)、インターン(右)。(2012年8月)